

第 13 次 5 ヶ年計画関連座談会

田中 修

はじめに

秋の党 5 中全会で議論される「第 13 次 5 ヶ年計画党建議」の内容は、現在大詰めとなっているとみられるが、5 月 27 日、習近平総書記は、浙江省で 7 省市党委員会主要責任者座談会を開催し、第 13 次 5 ヶ年計画期間の経済社会発展について意見・建議を聴取した。座談会には、上海市・江蘇省・浙江省・安徽省・福建省・江西省・山東省の党委書記が参加した。本稿では、ここで行われた習近平総書記の重要講話の概要を紹介する。

現在及び今後一時期、世界経済の環境は依然として比較的複雑であり、チャンスと試練が相互に交錯し、時勢は総体として中国に有利であり、わが国の発展の重要な戦略的チャンスは、依然として存在する。

わが国の経済社会の発展の前景は広大であり、同時に少なからぬ困難・試練に直面しており、構造調整・発展方式の転換・イノベーション促進という新たな任務は、依然として非常に困難である。

第 13 次 5 ヶ年計画期間の発展を計画するには、直面するリスク・試練をはっきり認識し、難点と複雑性をさらに十分に推し量り、各種リスクにさらに深く思いをいたし、各方面の状況をさらに周到に考慮し、しっかりと統一的に企画し、各方面を併せ考慮しなければならない。

第 13 次 5 ヶ年計画期間、経済社会の発展のためには、①経済成長の維持、②経済発展方式の転換、③産業構造の調整・最適化、④イノベーション駆動による発展の推進、⑤農業現代化の歩みの加速、⑥体制メカニズムの改革、⑦協調発展の推進、⑧生態文明建設の強化、⑨民生の保障・改善、⑩貧困扶助開発の推進等の方面で、顕著なブレイクスルーを得るよう努力しなければならない。

経済成長を維持する措置・方法を深く検討し、経済社会の持続的で健全な発展を制約する重大問題の解決に力を入れ、成長の潜在力を発掘し、発展の動力を育成し、発展の優位性を深く根付かせ、発展の空間を開拓し、経済の総量を新たな段階に推し上げなければならない。

経済発展方式の転換を軸に、経済発展の質・効率の向上を中心とすることを堅持し、経済成長を、①主として投資・輸出による牽引から、消費・投資・輸出の協調した牽引へと転換し、②主として第 2 次産業による牽引から、第 1 次・第 2 次・第 3 次産業の協同牽引へと転換し、③主として物質・資源の消費増加への依存から、科学技術の進歩・労働の素

質向上・管理のイノベーションへの依存に転換しなければならない。

産業構造の最適化・グレードアップは、わが国経済の総合競争力を高めるカギとなる措置である。

伝統産業を早急に改造・グレードアップし、情報化と工業化の深度ある融合を深く推進し、戦略的新興産業の育成に力を入れ、サービス業とりわけ現代サービス業を大いに発展させ、新しい業態・新しいビジネスモデルを積極的に育成し、現代産業発展の新たな体系を構築しなければならない。

総合国力の競争は、とどのつまりイノベーションの競争である。イノベーション駆動による発展戦略を深く実施し、科学技術のイノベーション・産業のイノベーション・企業のイノベーション・市場のイノベーション・製品のイノベーション・業態のイノベーション・管理のイノベーション等を推進し、イノベーションを主要な牽引役・支えとする経済システム・発展モデルの形成を加速しなければならない。

新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化を同歩調で推進する際の、脆弱な部分は農業現代化である。

農業現代化の歩みを加速することに着眼し、食糧・重要農産品の生産量を安定させ、国家食糧安全と重要農産品の有効な供給を保障すると同時に、農業発展方式の転換を加速し、農業技術のイノベーションの歩みを加速し、集約的で効率の高い、安全で持続的な現代農業の発展の道を歩まなければならない。

改革は、市場主体の活力を育成・発揮させ、経済社会の持続的で健全な発展を推進する根本動力である。

経済社会の発展で際立った問題である体制メカニズムの障害を打破することを軸に、改革を全面深化させ、改革意識を増強し、改革の行動能力を高めることにより、資源配分において市場の決定的役割を発揮させるとともに、政府の役割をさらに好く発揮させ、対外開放の新体制を形成し、国際競争の新たな優位性を早急に育成しなければならない。

協調発展・グリーン発展は、理念であるとともに措置でもあり、政策・実施が万全でなければならない。

有力な措置を採用して、地域の協調発展、都市・農村の協調発展を促進し、未発達地域の発展を加速し、都市・農村の発展の一体化と都市・農村の基本公共サービスの均等化を積極的に推進しなければならない。

生産空間・生活空間・生態空間を科学的に配置し、生態環境保護をしっかりと推進することにより、良好な生活環境を人民の生活の質の成長スポットとし、わが国の良好なイメージを展開する力の発揮点としなければならない。

経済発展を民生の保障・改善の出発点・着地点とすることを堅持し、人民大衆が関心をもっている教育・雇用・所得・社会保障・医療衛生・食品安全等の問題を全面的にしっかり解決することにより、改革・発展の成果・恩恵をより多く、より公平に、より実際に、広範な民衆に及ぼさなければならない。

なみはずれた措置を採用し、ハードな方法を打ち出して、貧困を確実に扶助し、貧困から確実に脱出させるという要求に基づき、政策の合わせ技を用いて、既定の期限・節目に、貧困扶助開発の堅塁攻略戦に打ち勝つことを確保しなければならない。

(6月11日記)